

# 令和5年度スーパーサイエンスハイスクール事業 理数セミナーのお知らせ

## アジアモンスーンと日本の気候は、 どのように、どの程度変動してきたか？

日時 | 令和5年12月9日(土)

午後2時から午後4時まで

会場 | 本校1階 多目的ホール (予定)

対象 | 高校生・中学生

講師 | 東京大学理学系研究科名誉教授

千葉工業大学地球学研究センター嘱託主席研究員

**多田 隆治 先生(本校卒業生)**



### 講演概要

アジアモンスーンは、夏には梅雨を、冬には木枯らしや日本海側の大雪をもたらすなど、日本の気候に大きな影響を与えます。では、そのアジアモンスーンは、いつどのように成立し、どのように変動してきたのでしょうか。私は、堆積物や化石などに残された記録を解析し、過去の気候・環境を復元する古気候学という学問を専門にしてきました。地球の過去の気候を探ってみると、皆さんの想像をはるかに超えるほど大規模に、時には急激に変動してきたことがわかります。そうした俯瞰的視点で現在進行中の地球温暖化を見てみると、最近頻発している異常気象や今起こりつつある気候変動のイメージがつかめるかもしれません。講演では、私がどの様にして古気候学の道に進み、どのようにしてアジアモンスーンの研究を進めたのか、国際共同研究の醍醐味などを紹介しながら、お話ししたいと思います。

### 講師紹介

福岡生まれ、杉並区立桃井第四小、井草中、都立富士高(24期)、東京大学理学部地質学科卒業、同大学院地質学専攻博士課程修了、東京大学理学部地質学科助手、同大学理学系研究科地球惑星科学専攻准教授などを経て、現在は同大学理学系研究科名誉教授、千葉工業大学地球学研究センター嘱託主席研究員。  
著書は「気候変動を理学する」(みすず書店)など



お問い合わせ：探究・SSH部 TEL 03-3382-0601